

—平成 24 年度会費お払込みのお願い—

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 11 月末にお願いしましたが、12 月末で入金の確認がとれない方につきましては、1 月末に再度振込用紙をお送りしますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 24 年 4 月末にお送りする予定です。

—登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい—

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認/変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
- (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX/郵送して頂く形式をとっております。

—英文論文誌 B レターカテゴリ—
廃止について—

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌 B には Paper, Letter の二つのカテゴリがありますが、2012 年 5 月 31 日を最後に Letter の投稿受付を停止し、英文論文誌 B は Paper (フルペーパー) のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌 B に掲載された論文に対する紙上討論としての Letter は引き続き投稿を受け付けます。

Letter カテゴリが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌 ComEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012 年 3 月 1 日投稿受付開始, 2012 年 6 月 1 日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

—IEICE Electronics Express (ELEX) の
掲載料の変更について—

IEICE Electronics Express 編集委員会

電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティでは、英文電子ジャーナル誌 IEICE Electronics Express (ELEX) の掲載料を改訂し、2012 年 3 月以降の投稿論文から新掲載料を徴収することになりましたので、御協力のほどよろしくお願い致します。

新掲載料におきましては、刷り上がりページ数と電子ファイル形式により料金を変更させて頂いております。

刷り上がりページ数が 6 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、30,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、40,000 円です。

一方、刷り上がりページ数が 7 ページ以上、12 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、80,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、100,000 円です。

刷り上がりページ数が 13 ページ以上の論文は受理致しませんので御注意願います。また動画などのマルチメディアファイルを含む場合は、ファイル 1 点当たり別途 3,150 円が加算されますので御留意願います。

※上記表示価格は消費税 5% を含みます。

—テニュアトラック普及・定着事業の
御案内—

文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課

テニュアトラック制とは、公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組みです。

文部科学省では、若い時期に自立して研究できる環境を整備し、優秀な若手研究者を育成するテニュアトラック制の普及・定着を推進するため、平成 23 年度より大学等を対象に以下のような支援を行っています。

【支援内容】

- 採用されたテニュアトラック教員に、研究費を支援（初年度：1,000 万円（上限）、2 年度目：初年度の半額程度）
- 採用されたテニュアトラック教員の中から、特に優秀な者を選定し、研究費・人件費に使える経費（1,500 万円）を上乘せして支援
- テニュアトラック制を導入する機関には、テニュアトラック教員の公募・審査や育成などテニュアトラック制を実施するための経費を支援

【支援対象機関】

大学、大学共同利用機関、独立行政法人

【補助対象となるテニュアトラック教員の要件】

- 博士号取得後 10 年以内の若手研究者を対象とすること
- 一定の任期（5 年）を付して雇用すること
- 公募を実施し、公正・透明な選考方法で採用していること
- 研究主宰者（Principal Investigator: PI）として、自立して研究活動に専念できる環境（例：研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、研究活動時間が全仕事時間の 70% 以上であること）が整備されていること

○任期終了後のテニュアポスト（安定的な職）が用意されていること（昇任は必須条件ではありません。）

文部科学省では、「テニュアトラック普及・定着事業」の平成24年度の新規公募を平成24年1月上旬に行う予定です。

※テニュアトラック普及・定着事業の支援内容や公募に関する情報については、文部科学省及び科学技術振興機構 HP を御覧ください。

文部科学省 HP：http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/wakate/index.htm

科学技術振興機構 HP：<http://www.jst.go.jp/shincho/program/wakate.html>

【問合せ先】文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課基礎人材係
TEL [03] 6734-4021 jinzai@mext.go.jp

——平成24年2月号及び3月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

2月号 [英文] Analog Circuit Techniques and Related Topics
(通信ソサイエティ)

2月号 [和文] 通信技術の未来を切り拓く学生論文

3月号 [英文] New/Next Generation Photonic Networking and Future Networks

(エレクトロニクスソサイエティ)

2月号 [英文] Photonic Devices using Nanofabrication Technology and Their Applications

3月号 [英文] Josephson Junctions—Past 50 years and Future—
(情報・システムソサイエティ)

2月号 [和文] データ工学と情報マネジメント

2月号 [英文] Reconfigurable Systems

・ Architectures, Protocols, and Applications for the Future Internet

3月号 [和文] 学生論文

3月号 [英文] Foundations of Computer Science

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局サービス事業部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

- ・機関名：産業連携への窓（全国版）
URL：<http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>
(国立大学56校の共同研究センターの情報を掲載)
- ・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター
URL：<http://www.rise.waseda.ac.jp/>
- ・機関名：中央大学理工学研究所
URL：<http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>
- ・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオフィス
URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>
- ・機関名：明治大学知的資産センター
URL：<http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>
- ・機関名：東京電機大学産官学交流センター
URL：<http://www.dendai.ac.jp/crc/>
- ・機関名：関西大学先端科学技術推進機構
URL：<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>
- ・機関名：愛知工業大学総合技術研究所
URL：<http://aitech.ac.jp/res/>
- ・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター
URL：<http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>
- ・機関名：東京大学空間情報科学研究センター
URL：http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html/

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始致しました。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>

